

高齢者虐待防止のための気づきチェックリスト

高齢者氏名	記載日
-------	-----

高齢者虐待が疑われる場合の「サイン」として以下のものがあります。複数のものにあてはまると、疑いの度合いはより濃くなっていきますが、これらはあくまで例示です。
 様々なサインを捉え、なぜチェックがついているのか、その背景をアセスメントしたうえで、高齢者や養護者への支援を考えていきましょう。

- 1 サインで当てはまるものがあれば、チェック欄に「○」を付け、具体的な状況を記入してください。
- 2 「○」があれば、自分一人ではなく、同僚や上司等、複数の目で確認してください。
- 3 複数に「○」があり、高齢者虐待が疑われる場合は、「区地域支えあい課」や高齢者がお住いの地域を担当する「地域包括支援センター」へご相談ください。

高齢者からのサイン

高齢者の様子	サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
態度や表情	おびえた表情や、体を委縮させている。		
	急に不安がったり、急な態度の変化がある。		
	家族のいる場合、いない場合で態度が異なる。		
	無気力な表情、無表情や投げやりな態度である。		
	かきむしり、噛み付き、ゆすり、自傷行為などがみられる。 (疾患によるものを除く)		
	人目を避けたがるようになる。		
	不自然な空腹を訴えたり、他の所ではガツガツ食べる。		
身体の状況	身体的にあざや傷がある。 ・説明のつかない転倒や小さな傷が頻繁にみられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・大腿の内側や上腕部の内側、背中等の痛みやみみずばれがある。 ・回復状態がさまざまな段階の傷 ・あざや骨折がある。 ・臀部や手のひら、背中等に火傷跡がある。 ・生殖器等の傷、出血、かゆみの訴えがある。 		
	衣服・身体の清潔さが保たれていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・身体の異臭、汚れのひどい髪、のび放題の爪 ・汚れたままの服や、濡れたままの下着を身につけている。 		
	やせが目立ったり、急な体重の減少、拒食や過食による不自然な体重の増減がある。		
	不眠や不規則な睡眠(悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等)の訴えがある。		
話の内容	「怖い」「痛い」「怒られる」「家にいたくない」「殴られる」といった発言がある。		
	話す内容が変化し、つじつまが合わない。(疾患によるものを除く)		
	何を求めても説明しようとはせず、隠そうとする。		
	「お金を渡されていない」「お金を取られた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言があったり、年金通帳・預金通帳がない。		
	自分を否定的に話す。		
	「ホームに入りたい」「死にたい」などの発言がある。 新たなサービスは拒否する等、援助を受けがらない。		
行為の自由度	自由に外出したり、家族以外の人と話すことができない。		

養護者からのサイン

養護者の態度	サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
高齢者に対する態度	冷淡、横柄、無関心、支配的、攻撃的、拒否的		
高齢者への話の内容	「早く死んでしまえ」など否定的な発言がある。		
	コミュニケーションをとろうとしない。		
関係者に対する態度	援助の専門家と会うのを避けたり話したくないなど、拒否的である。また、本人に会わせなかったり、本人の部屋を見せない。		
	専門家に責任転嫁をする。		
	他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがある。		
適切な医療や介護、サービス等の提供	経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしさない。 ・資産と日常生活の大きな落差 ・サービス利用負担や生活費が払えていない		
	住環境が不適切である。 ・極端に乱雑であったり、床がベタベタした感じがする、汚れたままのシーツ等、極めて非衛生的であったり、異臭がする。 ・冷暖房の欠如		
	菓子パンのみの食事など、適度な食事が準備されていなかったり、食べるものにも困っている。		
	高齢者の健康や疾患に関心がなく、医療機関への受診や入院の勧めを拒否したり、受診した気配がない。		
	介護サービスが必要であるが、勧めても無視あるいは拒否し、極端に不足していたり、未使用である。		

地域からのサイン

サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
自宅から、高齢者や介護者・家族のどなり声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる。		
庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相（草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨てられている）を示している。		
室内や住居の外にゴミがあり、異臭がしたり、虫がわいている状態である。		
高齢者が、気候や天気が悪くても長時間外にいる姿がしばしばみられる。		
高齢者が道路に座り込んでいたり、道に迷っている姿がみられる。		
家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている。		
ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になり、何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる。		
近所付き合いがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられている。		
郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や郵便で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない。		
電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している		

《その他の気づき》